

## ○ブナ巨木と素材生産事業地等の見学会を実施

9月13日（木）、素材生産現場・製材工場の見学等、木が伐採され製品として利用されるまでの川上から川下への一連の流れを体験し理解を深め、木材の促進利用を図ることを目的に、「森林と木を知るツアー」と題し見学会を実施しました。

今年も、残暑が続く中で公募による参加者8名が当署前に集合し、最初の目的地である素材生産請負現場に向かい、有限会社下久保林業の方々の実演により、従来からのチェーンソーでの伐倒作業から造材作業までの一連の作業を見学しました。次に高性能林業機械であるハーベスタによる伐倒から枝払い、造材作業を見学し、初めて見る伐倒の迫力や人力の3分の1の早さで、伐倒から丸太にしてしまうハーベスタの早さと正確な動きに感心していました。

次に、日本一のブナの巨木を見学しました。このブナは「森の神」と呼ばれ平成19年に1本のブナとしては、日本一と巨樹・巨木林の会から認定されています。

また、近くにあるキハダの巨木も見学し、参加者は、広葉樹林の中で予定時間を忘れるくらい癒やされました。

午後からは、上北森林組合・木材加工センターを見学し、初めて見るコンピュータ化された最新の製材機械とシステム化された作業仕組みや、EＣＯである木質バイオマスボイラーに感心している様子でした。

最後に青森県産材使用長寿命化住宅「いわ木の家」モデルハウスを見学、県の担当者から青森県産材エコポイント制度の説明などがあり、本日のツアーを終了しました。

今回のツアーも参加者や各見学先の方々のご協力により、予定された時間内で無事に終了することができました。今後も森林・林業を理解していただくために継続したPR活動が必要と感じました。



高性能林業機械を間近に見学



日本一のブナ巨木「森の神」



木質バイオマスボイラー



青森県産材モデルハウス